

広報 ⊕
No.713
令和5年

いいたて7



『平日無料』始めました

7月1日から当面の期間、村民の方・村内でお勤めの方(ご家族を含む)に、月曜日から金曜日の平日に限り、「あいの沢キャンプ場」を無料でご利用いただけるようになりました。この機会にぜひご利用ください。

※予約は先着順でいっぱいになり次第締め切ります。



6月中旬、週末を利用して多くの方が訪れていました。子どもも大人ものびのび過ごすファミリーキャンプ、友人同士でキャンプ飯を囲むグループキャンプ、一人ぜいたくに時を楽しむソロキャンプなど、そのスタイルはさまざま。このキャンプ場のお気に入りのポイントを聞くと「木陰がいいですね」「オートキャンプ場のサイトの水はけがすごくいい」「スタッフの方が親切であたたかい」「リーズナブルだと思いますよ」と気さくに答えられました。管理棟のスタッフもアンケートなどで利用者の声を集めサービスの向上に努めています。

東北エリアを中心にご夫婦でキャンプを楽しんでいる春田さん。キャンプのレポートと共に訪れたキャンプ場の魅力をSNS等で紹介しています。



リピーターさんに聞きました

豊かな自然と行き届いた整備
静かな夜がたまらないですね

春田一成 さん(南相馬市)

このキャンプ場は外から人を呼べるともよい観光資源になるだろうと感じています。この環境を大切にしていきたいですね。特に夜とても静かなのがたまらないです。人工物が少なく灯りも程よいので、星がものすごくきれいに見えます。それでいて実は整備が行き届いた管理キャンプ場であるという点も大事なポイントです。開放感があり景色のよいフリーサイトも気に入っています。天気の情報などをリアルタイムで知りたいと考えるのでWi-Fi(インターネット環境)を入れていただけるとさらに申し分ないと思います。



週末ごとに多くのキャンパーでにぎわう『あいの沢キャンプ場』。緑の木立に囲まれ、山野の花が彩る「村民の森あいの沢」のエリア内に位置します。『あいの沢キャンプ場』は、昨年4月にリニューアルオープンし、1年間のモニター利用を経て、この春から有料での営業となっております。15区画のオートキャンプ場に加え、広々としたフリーサイトもオープン。手ぶらで来てもキャンプが楽しめるレンタル用品も整いました(数には限りがありますのでぜひご予約を)。また、フリーサイトのトイレが改修され、ウォッシュレット機能付きの最新型に。隣接する「宿泊体験館 きこり」も改修工事が完了し、日帰り入浴・本館宿泊の魅力を再開しています。キャンプをしていた皆さんに、『あいの沢キャンプ場』の魅力を聞いてみました。

「あいの沢キャンプ場」へようこそ！ 多くのキャンパーに愛されています

目次 CONTENTS

- 02 話題「あいの沢キャンプ場」
- 04 特集1「点検しよう私の『防災』」
- 10 特集2「未来を育む農地活用」
- 14 空から百景「村民の森あいの沢」
- 16 報告「6月議会定例会」
- 18 学びの広場「絵画ワークショップ」ほか
- 19 ほけんとふくし「百歳賀寿」ほか
- 20 いいたて便り
- 22 話題のパレット
- 23 村からお知らせ
- 24 いいたてイノサル通信
- 25 歴史の散歩道／ふれ愛館だより
- 26 いいたてDIARY／村民広報委員コラム
- 27 愛楽故郷味／ひとのうごきほか
- 28 ほっとNEWS ほか



池のほとりに広々フリーサイト。



青空のもと、水辺の緑が鮮やか。

あいの沢 キャンプ場

☎0244-42-0511(管理棟／電話受付・午前9時〜午後4時)

■オートキャンプ場(電源付き・炊事場あり)

1サイト1泊2,000円・日帰り1,000円

■フリーサイト(電源なし・炊事場なし)

1区画 1泊500円・日帰り300円

■チェックイン午後1時〜午後5時／チェックアウト午前10時

■ペット同伴可(リードを着用の上)



村HPより

今月の表紙

飯桶地区の大豆畑で「13区営農組合」の皆さんが、畝と畝の間を耕す「中耕」の作業を行っていました。大型のトラクターが苗の間を走行し、耕すと同時に根元に土を寄せていきます。一方のトラクターには北海道から取り寄せたカルチ(除草機)がセットされていて、畝間の除草に力を発揮しているそうです。広い農地で効率よく進められる、ダイナミックでしかも繊細な作業に目を奪われました。(関連記事P10)

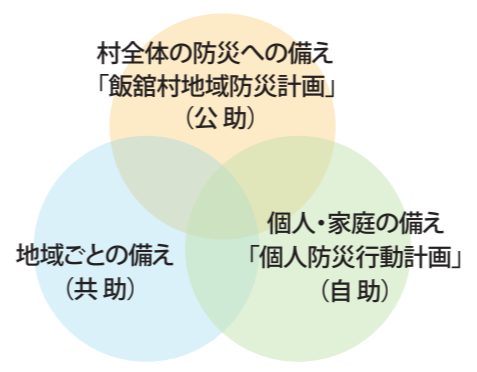
村はイベントや取り組みを取材し広報紙やホームページなどに掲載しています。写真掲載に不都合がある方は、お手数ですが、村づくり推進課企画定住係 ☎0244-42-1613までお知らせください。

点検しよう！ 私の「防災」

近年、気候変動等の影響により、大規模な自然災害が全国で繰り返し起きています。住んでいる場所や家族構成によっても、「いざ」という時の対応には違いがあります。大雨や台風が発生しやすい季節を前に、ご自身やご家族の「防災」について確認してみませんか。風水害への対応を中心に、防災情報を改めてお伝えします。平常時の備えが「いざ」という時に、大切な生命を守ります。

公助・共助・自助の備えが大切です

村は令和3年に「飯館村地域防災計画」を策定し、さまざまな災害時の村の対応について、関係機関との連携も含め備えています。しかし「防災」には、地域ごとの対策や助け合い(=共助)、個人の備えや行動計画(=自助)も欠かせません。災害が多発する季節を前に、自助の部分にあたる「私の「防災」」について、点検してみましょう。

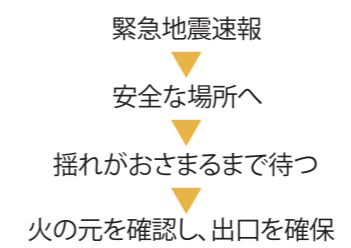


災害ごとの備えと基本の対応

さまざまな災害を想定して備えておこう

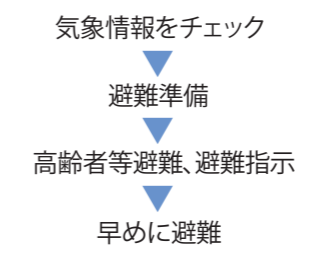
1 地震

● 普段の心がけ
家具の配置を点検。転倒しないよう家具を固定。散乱物でのケガを防ぐ室内の履き物、懐中電灯などはすぐ使える場所に置いておきましょう。



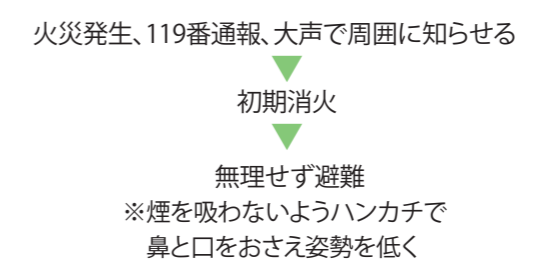
2 風水害・土砂災害

● 普段の心がけ
避難所や避難場所の位置、安全な経路を確認しておきましょう。家の周りの排水溝などを点検・清掃しておきましょう。



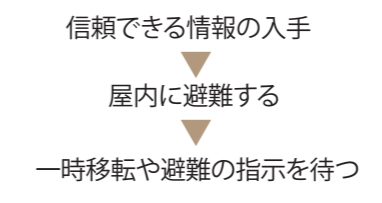
3 火災・林野火災

● 普段の心がけ
差したままのコンセントのホコリを清掃。火気器具・電気器具や配線の点検。消火器具などの点検。



4 原子力災害

● 普段の心がけ
自家用車の燃料を確認しておきましょう。マスク・帽子・レインコート等があると放射性物質の付着を減らせます。



5 ミサイル落下

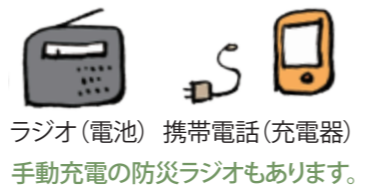
日本にミサイルが落下する可能性がある場合、国が「Jアラート」で緊急情報を発信します。メッセージが流れたら落ち着いて直ちに行動しましょう。

- 屋外 ▶ 頑丈な建物や地下に避難
建物がない場合は物陰に身を隠すか地面に身を伏せて頭部を守る
- 屋内 ▶ 窓から離れるか窓のない部屋に移動する。

できることから始めよう！ 防災グッズ&備蓄品

おすすめの一例です。
我が家に何が家族で話し合ってみてください。

情報収集のツール



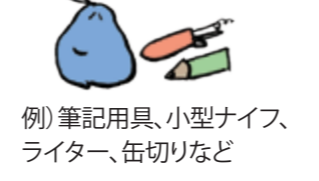
災害時用の調理器具



ポータブル電源



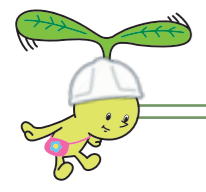
小物類



食料品等は消費期限が切れる前に交換しましょう。交換のタイミングで実食し家族で防災訓練を試みるのもおすすめです。



自宅にいる時に災害が起きるとは限りません。職場や車内で被災することもあるでしょう。状況に応じて備えておきたいですね。



水と食料は最低3日分、できれば1週間分を、人数分備蓄することが推奨されています。



簡易トイレ



断水時の水洗トイレはゴミ袋等をかけて使用し凝固剤で固めて燃えるゴミに出します。

貴重品



災害時用の調理器具



例) カセットコンロ
キャンプ用品も活用できますね。

ろうそく(マッチ・ライター)



その他必要なもの



季節の必需品



ハザードマップや情報ツールを確認しました…それではよいよ

状況ごとに自分の行動を検討! 「マイ・タイムライン」を作成します

情報収集を始めるのはいつ? 避難の準備を始めるのは? どのタイミングで避難を始める? マイ・タイムラインには、さまざまな状況を想定して、その時その時の行動を書き入れていきます。基本的なタイムラインが完成したら、「夜間だったら」「休日だったら」「職場にいたら」など異なる状況の対応も検討しておきます。

避難場所や
連絡方法も話し
合っておこう

5段階の避難情報

	危険な場所から 高齢者は避難!		危険な場所から 全員避難!!		
警戒レベル	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5
	災害への 心構えを 高める	ハザードマップ などで避難行動 を確認	避難に時間を 要する人は 避難する	速やかに 安全な場所へ 避難する	災害発生
出される情報	早期注意情報 気象庁が発表	大雨注意報や 洪水注意報 気象庁が発表	高齢者等避難 市町村が発令	避難指示 市町村が発令	緊急安全確保 市町村が発令

各市町村が発令する避難情報は、テレビやラジオのニュース、テレビ画面に表示される災害情報テロップ、データ放送などで確認できます。避難所開設の情報も市町村から県に送られ、集約された情報がテレビ・ラジオ等で流れます。

災害が迫る状況を想定し、家族や自宅(職場)の状況に合わせてマイ・タイムラインを作成します。

<大雨が長引く時>のマイ・タイムラインの一例

3日前	2日前	1日前	レベル1 早期注意情報	レベル2 大雨注意報や 洪水注意報	レベル3 高齢者等避難	レベル4 避難指示	レベル5 緊急安全確保
<ul style="list-style-type: none"> マイ・タイムラインを確認 家族全員の今後の予定を確認 テレビの天気予報に注意 	<ul style="list-style-type: none"> 1週間分の薬を病院からもらっておく 防災グッズを確認、不足分を買い足す 家の周りのものを確認 避難場所と避難方法を家族で確認 防災グッズをまとめておく 	<ul style="list-style-type: none"> 携帯電話の充電 避難場所と避難方法を家族で確認 ハザードマップで避難経路を確認 家族で避難することを地域・親戚に連絡 防災グッズの最終確認 	<ul style="list-style-type: none"> 川の状況をインターネットで確認 不在の家族に連絡、状況を確認 通行止め情報をインターネットで確認 	<ul style="list-style-type: none"> 家族全員が避難を完了 家族全員が避難を開始 家族の不在時は高齢の母と先行で避難 	<ul style="list-style-type: none"> テレビで災害の状況を確認 	<p>災害発生</p> <p>災害発生時を「ゼロ・アワー」(基準の時間)とし逆算でとるべき行動を書き入れていきます。</p>	

家族一人ひとりの状況を考慮し、各時点の行動の目安をまとめておきます。書き出すことで、緊急時の行動を具体的に検討することができます。実際の災害時には最新情報で状況を確認しそれに応じた臨機応変な対応をとることも大切です。

支援が必要な方の「マイ・タイムライン」作成をサポートします。
村は、避難等に支援が必要な方について、この「マイ・タイムライン」の作成をサポートできるよう、防災担当と福祉係が共同で準備を進めています。

どのタイミングで避難する?

マイ・タイムラインをつくらう



「マイ・タイムライン」とは、洪水のような進行型の災害が発生した時に、「いつ」「何をするか」をあらかじめ個人個人で考えておく「個人防災行動計画」の一つです。災害時に想定される行動を整理して、時系列で書き出しておきます。

避難のタイミングや行動の内容は、自宅や職場の立地条件、ご自身の年齢、家族構成などによって、変わってきます。災害が迫っている時、気象情報や災害情報に照らして、どのタイミングでどう行動するか、事前に考えておくことは非常に有効です。



(参考) 国土交通省
マイ・タイムライン
かんたん検討ガイド

まずは「知る」ところから

自分の住んでいる場所の災害の危険をさまざまな角度から確認しましょう。危険性が高い場合は状況に応じてより早目の避難を。



飯館村防災ハザードマップ

災害発生の恐れがある危険箇所について、地域の方から聞き取った情報も含め地図上に示しています。

ため池ハザードマップ

農業用大規模ため池や「岩部ダム」が万が一決壊した場合の浸水域や浸水の深さを示したものの、村のHPに公開しています。

国土交通省ハザードマップポータルサイト(国土地理院)
※全国各地のハザードマップが検索できます。



ため池



岩部ダム

情報を得る方法を確認

気象情報や避難情報をリアルタイムで伝える情報サイトがあります。必要な情報を得るための方法をしっかり確認しておきましょう。

国土交通省防災情報提供センター

<https://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/>



気象庁ホームページ

<https://www.jma.go.jp/>



キキクル
(飯館村)



気象庁HP内「キキクル」は雨による災害の危険度を地図上に表示します。

キキクル 飯館村 検索



ぜひ登録を!

▶▶▶ gメールでも登録ができるようになりました。

飯館村災害用メール配信サービス

飯館村 災害用メール 検索

※村内の気象情報(防霜情報含む)・地震情報などを受け取り自動配信しています。

防霜情報の
配信が始ま
りました。

※空メールを送信すると本登録用のメールが送信されます。



iitate@entry.mail-dpt.jp

「いざ」という時に備えて 地域住民の暮らしを守るために

地域住民の安全を守るため、力を尽くして下さる関連機関の皆さん。日頃からの備え、そして「いざ」という時の献身的なご尽力、本当にありがとうございます。



大きな災害が毎年のように発生している現状を踏まえ、地域ごとの防災力の強化が以前に増して必要となっています。村も「飯館村第6次総合振興計画」に地域防災の向上を掲げ、「飯館村防災ハザードマップ」を全戸配付、「飯館村地域防災センター」を開設した他、「飯館村地域防災計画」を策定。県や周辺地域と連携した訓練にも参加しています。また現在も、地域や関連機関と協議を行い、防災機器やシステムの強化を検討しています。



南相馬消防署飯館分署

火災や救助の現場に駆け付け、消火活動・救急活動に力を尽くす消防士の皆さん。他にもさまざまな災害の最前線で、人命救助に力を発揮します。緊急時に備える日頃の訓練、防火防災の呼びかけなど、平常時を含め地域防災の要を担っていただいています。

飯館村地域防災センター 飯館村飯樋字町102番地 **問** 総務課総務係 ☎0244-42-1611

旧飯樋小学校を改修し令和3年度に完成した施設です。避難所等となる機能を有し、大規模災害時に村が防災拠点として使用します。施設内には東日本大震災に関連する記録の展示があり、平常時には地域コミュニティや地域間の交流に活用されています。また、村の文化祭の作品展示、希望の里学園児童の合宿通学、大学生の交流イベントなどに使用されたこともあります。一般使用の申し込みは、平常時の管理を行う生涯学習課(交流センター「ふれ愛館」☎0244-42-0072)で受け付けています。

飯館村消防団

消防団は消防組織法に基づいて各市町村に設置される消防機関。飯館村消防団(赤石澤傳団長/飯樋町)には、村外に自宅がある方も含め、146人(4月1日時点)が所属しています。災害時には、救助・救出、避難誘導などにもあたります。



自衛隊

自衛隊は、大規模災害時に都道府県知事等の派遣要請を受け、規定の手続きを経て派遣されます。被災地では、捜索・救助・輸送などさまざまな災害派遣活動を行います。平成23年の東日本大震災の際も村に駐留し給水支援などにあたっていただきました。



消防団員を募集しています



大切なふるさとと一緒に守っていきましょう!

「自らの地域は自ら守る」を基本理念とする消防団。その構成員である消防団員は、他に本業を持ちながら、非常勤特別職の地方公務員として、消防防災活動を行います。

飯館村消防団では、共に活動する仲間を募集しています。関心をお持ちの方はぜひ一度お問い合わせください。

問 総務課総務係 ☎0244-42-1611

〈施設等の概要〉

- 収容数 約330人(屋内及び屋外野営場で)
駐車スペース約100台(災害時)
- 設備 ホール、研修室、キッチン、食堂、シャワー室、備蓄庫、リネン庫、倉庫、展示室、太陽光発電設備、駐車場、屋外野営場など
- 備蓄品 非常食、保存食、保存水、粉ミルク、エコ食器、カセットコンロ、避難所間仕切り、避難所用間仕切りテント、テント、簡易ベッド、エコラジオ、ランタン、毛布、救急箱、生理用品、簡易組み立て便座、リヤカー、台車、ブルーシート、ガソリン携行缶など

農地活用の新しい形

13区営農組合が耕作する飼料用米の水田の一部。



「農地中間管理事業」から生まれた農業の循環

フェリスラテ



堆肥の製造エリア。定期的に上下を返し、微生物による発酵を促します。

13区営農組合



組合員が一丸となって技術を高め、広大な農地で作物を栽培しています。

飯舘村の未来を育む 農地活用の新しい形

飯舘村の自慢の農業は、震災による中断で、培ってきた多くのものを失いました。また、表土のはぎ取りが行われた農地の再生、避難による担い手の大幅な減少など、長期的な課題にも直面することになりました。しかし今、村内にはいきいきとした農の風景が、一歩また一歩と広がっています。全村避難の期間から営農再開に向けて準備を進めてきた村と担い手の挑戦が、困難を打破しながら力強く歩みを進める中で、生まれくる景色の広がりです。

課題に向き合う中で、新しい形を取り入れながら、飯舘村の農業は、未来へつなげる構想をもって前進を続けています。担い手の大いなる努力を機動力に、農地の持ち主をはじめとする多くの村民にも利をもたらす村全体を活性化させる取り組みとして、農業の振興が行われています。



育成牧場で従業員と共に毎朝の作業を行う田中さん。

復興牧場『フェリスラテ』は、福島市の本場で約600頭の乳牛を飼養し生乳を出荷しています。代表取締役社長の田中一正さん(長泥)は、令和元年、村内に育成牧場を開場し、前出の『13区営農組合』が生産する飼料を買取り、ホルスタインの仔牛の育成と和牛の繁殖を行っています。また、良質の堆肥を生産し、村や村内の農家に提供。堆肥は年間500t以上の生産量がありますが、この春は一時的に売り切れ状態にもなったそうです。同営農組合の細川代表とは旧知の仲という田中さん。「素晴らしい飼料をつくっていただいている。牛が喜んで食べるので、成牛がいる福島市の本場でも使っています。地場で安定的によいものが手に入ることは本当にありがたいです」。

約150haの農地で、飼料用米・WCS(ホールクロップサイレージ)・デントコーン・大豆(契約栽培)を生産する農事組合法人『13区営農組合』(細川強代表/上飯樋)。地域の担い手集団として平成29年から活動をスタートし、広大な農地にヒマワリを植え緑肥にするなど、いち早く営農再開に備えました。令和元年秋には、任意の団体を法人化。「農地中間管理事業」を先駆的に活用し、上飯樋地区(13区)を中心に集積した農地で、新たな農業の形をつくってきました。農地は数年内に200haまで広がる見込みで、「新たに作付けする作物の選定にも動いています」と細川さん。「この土地に合ったやり方で、地域の農地を守りながら、やりがいのある仕事を創っていききたい」。



今年から本格的に栽培が始まったデントコーンの畑。

「将来への布石」として 新たな「価値」を生み出す取り組み

村はこれまで

■ 集落の話し合いを進めて、農地の貸し手の意向などを『作付再開計画』『人・農地プラン』にまとめました。
(平成29年～)

■ 意向に基づき『農業基盤整備促進事業』が進んでいます。
(平成29年～)

■ 農業基盤整備促進事業と並行して、意欲高い経営体へ『農地中間管理事業』による農地の集積を進めています。

『農地中間管理事業』の成果 (令和元年～令和5年6月現在)

集積された農地(貸付農地)	405ha / 9地区
担い手(借り手)	34件
機構集積協力金交付実績	約1.8億円(令和元年～4年)
地権者(貸し手)等	413人

村はこれからも

■ 今後も飯舘村振興公社など新たな担い手への集積と支援を進めます。

令和5年～令和7年の目標

集積予定の農地(貸付農地) 535ha / 18地区 + α

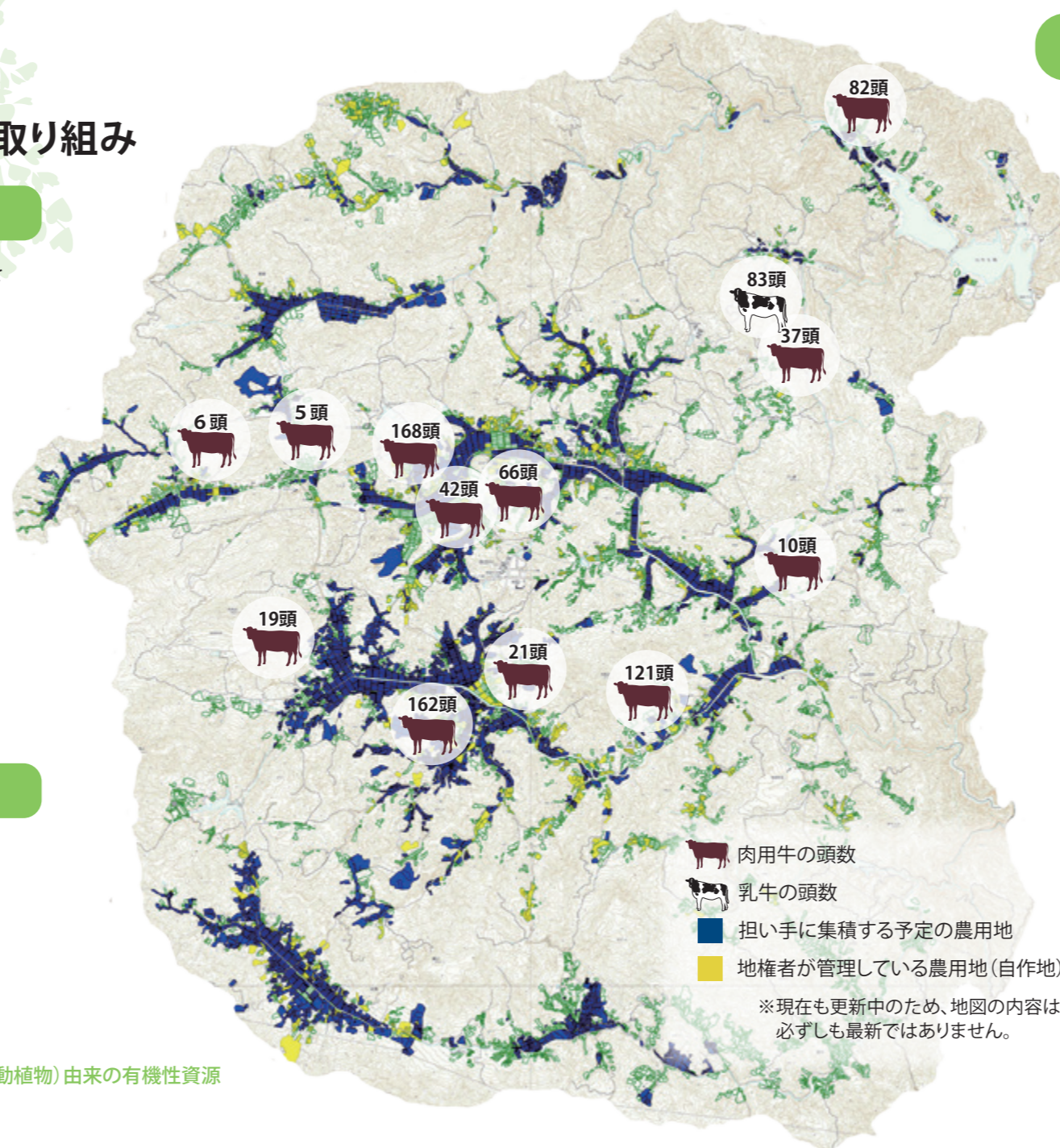
■ 村全体の土地利用をさらに推進します。

農業生産のための土地利用

バイオマス生産のための土地利用

木質バイオマスのための土地利用

※バイオマス=生物(動植物)由来の有機性資源



震災後の飯舘村農業のあゆみ

村は全村避難となった平成23年に実施した農業者アンケートに基づき、技術継承を兼ねた営農意欲を沸き起こすための施策として「避難先での営農再開」や「避難先での農による生きがい再生支援」を実施しました。

また平成29年3月末の19行政区の避難指示解除後は、「そろそろはだづべ」をキャッチフレーズとする飯舘村営農再開ビジョンを示して、村内で農に携わる方や意欲あふれる経営体のそれぞれのステップに合わせた支援を進めました。

これらの施策により、村内の農地を活用した取り組みが増え、ステップごとの件数は

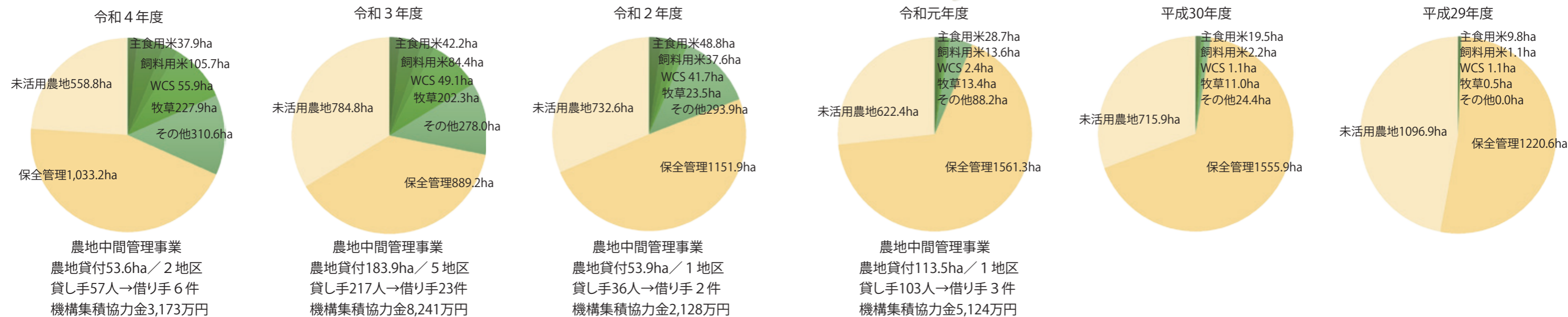
Step 1 農地を守る	約1,200件
Step 2 生きがい農業	359件
Step 3 なりわい農業	108件
Step 4 新たな農業	9件

となりました。

現在は、さらなるステップアップ施策として、生きがい農業から「やりがい農業」を目指す方や、なりわい農業・新たな農業から「魅力あふれる農業」を目指す経営体を中心に支援を強化しています。

またこれらの取り組みと並行して、平成29年度からの集落ごとの話し合い結果をまとめた「人・農地プラン」に基づき、農地中間管理事業による担い手への農地の大規模貸し付けや、農業基盤整備促進事業などを進めています。

村は今後も、村内外の「農のいとなみ」を力強くサポートすることで「農に携わる意欲的な経営体」を増やす施策を進めるとともに、先祖伝来の貴重な農地や山林に「新たな価値を生み出す」取り組みを進めていきます。



「あいの浮橋」がかかるため池を中心とした約50haもの広大なエリアに、「宿泊体験館きこり(左手の建物)」、キャンプ場(P 2参照)、民家園、愛の句碑、遊歩道などがゆったりと配置されています。このエリアの自然環境を生かし、より多くの方に親しんでいただけるよう、再整備に向けた計画づくりを進めています。

令和5年6月議会定例会は、6月9日から16日までの日程で開催されました。一般質問は13・14日に行われ、村議員が村政の重要な課題等について村側の考えを質しました。

議会審議は16日に行われ、提出された議案はすべて原案どおり可決されました。



今議会で可決された議案など

令和5年度
一般会計補正予算
一般会計補正予算(追加)

令和5年度国民健康保険
特別会計補正予算

令和5年度介護保険
特別会計補正予算

飯館村子育て支援センター
設置条例

飯館村有害鳥獣減容化施設の
設置及び管理に関する条例

東日本大震災に伴う国民健康
保険税の減免に関する条例の
一部を改正する条例

東日本大震災による被災者が
属する世帯の第1号被保険者
に対する介護保険料の減免に
関する条例の一部を改正する
条例

新規就農者技術習得管理施設
新築工事請負契約について

飯館村消防団小型ポンプ積
載車の取得について

福島県市町村総合事務組合を
組織する地方公共団体の数の
減少及び福島県市町村総合事
務組合規約の一部変更について

報告第1号
令和4年度一般会計
繰越明許費繰越計算書

報告第2号
令和4年度一般会計
事故繰越し繰越計算書

村長村政報告

紙面の都合上、一部省略しています

長泥地区

4月15日に国・県との協議を行
い、避難指示解除に係る同意を
得て、5月1日に特定復興再生拠
点区域及び長泥曲田公園の避難
指示が解除されました。当日は、
多くの地元住民の方にご参加い
ただきながら、避難指示の解除に
よるバリエードの開放が行われ、
併せて長泥コミュニティセンター
の竣工式も開催しました。

また、3月26日の長泥行政区
総会では、行政区立会いのもと、
長泥地区に計画されている資源
活用型堆肥製造施設の立地協定
を締結しました。

引き続き、長泥地区全域の解
除に向けて、尽力していきます。

宿泊体験館「きんり」

平成28年3月に再オープンし
た入浴施設の利用者数は、4月
末時点で3万4857人、平成29
年5月に業務を再開した素泊ま
りの宿泊者数は、4月末時点で

7661人と、村民の憩いの場・交
流の場となっております。

令和4年2月13日に発生した
福島県沖地震により、きんりの各
施設に甚大な被害を受けたため、
入浴施設とコテージでの宿泊のみ
の営業となっていました。宿泊棟
の改修が完了し、6月1日から宿
泊棟の営業を再開しています。

マイナンバーカード

5月21日現在、飯館村の申請
率は約8割となっております。もの
交付率は67.8%です。マイナン
バーカードの取得に向け、平日
の時間外や休日の申請交付体
制を整え、さらには職員による
出張申請の受付や申請サポー
トを行うなど、マイナンバーカー
ド取得の推進に向けて取り組ん
でいきます。

村民の帰還状況

5月1日現在の村への帰還者
は638世帯、1223人で帰還
率は約25.7%です。これに、震
災後の転入者239人といいた
てホームの入所者等を合わせ、
村内の居住者は802世帯で

1518人です。

避難を継続している方は、県
外避難者が158人、県内避難
者は、福島市に2035人、南相
馬市に286人、伊達市に252
人、川俣町に237人など、合わ
せて3086人です。

新型コロナウイルス接種

新型コロナウイルスは感染症法
上、5月8日に5類感染症に移行
しましたが、ワクチン接種は、引
き続き自己負担なしで令和6年
3月末まで接種できるようにな
りました。令和5年度の春開始
接種については、高齢者・基礎疾患
のある方・医療・介護等の従事者
等が対象で、5月から7月に接種
を予定しています。村内「いちば
ん館」で集団接種を実施し、5月
26・27日の2日間で434人の接
種が完了しました。

農政関係

現在、蔵平の建設用地にて建
設工事が進められている木質バイ
オマス発電施設等緊急整備事業
は、燃焼炉や発電用のタービンな
どのプラント本体をはじめ、建屋

等の建設が進み、次第に施設の形
が見えてきています。

順調に工事が進捗すれば今年
12月頃には概ね工事が完了し、年
明けにも試験運転が開始される
見込みです。事業の運営について
は事業主体である飯館バイオパ
トナース株式会社に対し、安全性
の担保が極めて重要であること
を改めて認識するとともに、透明
性の確保に努めながら事業を進
めるよう指導していきます。

建設関係

村道舗装機能回復工事は、今
年度10路線、1.4kmを計画して
います。今年度の事業で計画し
た路線がほぼ完了する見通し
ですので、調査や工事を行う時
期を検討し進めていきます。

農業基盤整備促進事業の工
事は、16行政区で進めていきま
す。昨年、各行政区から工事協
議担当者を選任し、地元関係
者との調整を迅速かつ的確に行
う体制が整ったため、営農再開
を早期に実現できるよう取り
組んでいきます。

子育て応援支援金

今年度から、村の次世代を担
う子ども達と子育て世帯を力
強く支援する村独自の施策とし
て「子育て応援支援金」を新設
しました。「子育て応援支援金」
は、子育てする場所の分け隔てな
く、村の希望・宝である子ども達
の育ちを、村をあげて応援する
初めての取り組みです。5月24日
の授与式では、対象のお子さん
と保護者の代表に目録と記念品を
お渡しするとともに、今年度の小
学校入学29人、中学校入学並びに
希望の里学園7年生進級23人、高
等学校入学28人、合計80人に総額
1080万円を支給しました。

一般会計補正予算(追加)

飯館村電気・ガス・食料品等
価格高騰重点支援給付金事業
住民税非課税世帯に加え、村
に住民登録のある全世帯にも一
律3万円を給付するものです。

百歳賀寿 めでたく100歳を迎えた方を、県や関連機関と共にお祝いしています。



佐藤ハルヨさん(前田)

大正12年6月25日生

関係者から賀寿や祝い品を受け取りました。晴れやかな笑顔が印象的です。

6月25日、家族と関係者らに囲まれ、賀寿贈呈式が行われました。佐藤さんは着物姿で出席され、百歳の喜びとたくさんの家族に囲まれた嬉しさをかみしめるように、終始穏やかに微笑んでいました。百歳になった今も押し車を利用し、散歩を楽しんでいるそうです。百歳を迎えられた村民は、佐藤さんで44人目です。



佐藤オイシさん(伊丹沢)

大正12年6月12日生

お孫さん・ひ孫さんから花束を受け取り、うれしそうに微笑む佐藤さん。

6月11日、福島市の家族宅で行われた賀寿贈呈式。百歳を迎えられた村民は佐藤さんで43人目です。手先が器用で裁縫が得意な佐藤さんは、現在も、塗り絵や貼り絵で飾り物を作り、楽しんでいらっしゃいます。式の最初は緊張した様子でしたが、次第に表情が緩み、家族や関係者からのお祝いに優しい笑顔で応えていました。



までの里のこども園 サツマイモの苗を植えたよ

6月6日、までの里のこども園の3歳児以上の園児達が、サツマイモの苗植えを行いました。

この日はJAふくしま未来飯館総合支店のご協力で、「べにはるか」の苗をいただき、植え方を優しく教えてもらいました。園児達は真剣な眼差しで説明を聞いた後、小さな手で一生懸命に土を掘り、丁寧に苗植えを行いました。最後に「大きくなあれ」と気持ちを入れて水やりをしました。今回植えたサツマイモの苗は、育つ様子を観察しながら、秋に収穫を予定しています。



大きいもの、長いもの、どんな形のサツマイモが育つかな?今から収穫が楽しみです。

いせひでこ先生 柳田邦男先生 子ども達の発想が輝くワークショップ



こども園では、つき組(4歳児)とそら組(5歳児)の園児達が目を輝かせて取り組んでいました。

までの里のこども園

6月15日、約15人の園児がワークショップに参加しました。雲の写真に自由に絵を描く活動で、子ども達は個性あふれる柔軟な発想力を発揮しました。絵本の読み聞かせをしていただいた後は、果物や野菜、花をスケッチし、それぞれ目に映るものを夢中になって見事に描き上げました。クレヨンを手でスラスラと動かし、瞬く間にたくさんの作品が完成しました。楽しそうな笑顔が終始あふれていて、柳田先生からは「みんなは天才です」とお褒めの言葉をいただきました。

飯館村子育て支援センター 飯館村飯樋字町483番地 ☎0244-42-1633 (健康福祉課福祉係)

飯樋地区に整備した「飯館村子育て支援センター」の運用を、7月1日からスタートしました。

本来は平成23年4月の開所を予定していましたが直前の震災により中断。村は、避難世帯が多かった福島市に平成27年12月から令和2年3月まで子育て支援センター「すくすく」を設置し、子育て世代を支援しました。

新たに開所するセンター内には木製の大型滑り台やボールプール、児童書コーナーなどがあります。当面は利用希望のある場合に開所し、子育て世代の交流の場として活用する他、育児相談会などを開催予定。皆さんに親しんでいただきながら、今後の運用方法や体制づくりを検討していきます。



いいたて希望の里学園

6月14~16日の3日間にわたり、希望の里学園前期課程の児童を対象に、身近な物で楽器を作るワークショップが行われました。それぞれ1日目に自分の作りたい楽器をイメージして設計図を作成し、2日目に制作活動を行いました。お菓子の箱やペットボトルなど様々な材料を切って、貼って、つなぎ合わせて、実際に音が出るギターやドラム、マラカスなどを完成させました。同じ楽器でもすべて音が異なるのは、個性が光る証です。最後は全員で音を鳴らし、1つの音楽ができあがりました。



希望の里学園では、1~3年生と4~6年生に分かれ、計3日間にわたり活動しました。

県内生産の農業用ドローン 深谷地区でデモ飛行



県内で開発・製造された機体であることから、県の導入支援補助金の対象にもなっています。

菊池製作所のグループ会社・イームズロボティクス(南相馬市)が、6月15日、深谷地区で農業用ドローンの実演デモンストレーションを行いました。

当日は農家の皆さんをはじめ関連機関の担当者が集まり、手動・自動の農薬散布の実演を見学。共同購入や有料の散布サービスなど、個人購入以外の導入方法についても説明を聞きました。



相馬地方防火安全協会飯館支部 会員と消防機関が連携を確認

相馬地方防火安全協会飯館支部の令和5年度総会が、6月2日、交流センター「ふれ愛館」で開催されました。総会では佐藤賢二支部長(深谷)が「近年増加する自然災害に対し、自主防災組織の強化を図り、会員と消防機関が連携しながら地域住民の安心・安全を守るよう適切な防火・防災活動をしていきたい」とあいさつ。また前支部長の持立真孝さんに感謝状が贈られました。同支部では今年度、コロナ禍で休止していた事業を徐々に再開し、普通救命講習などを実施する予定です。



飯館支部の事務局は飯館分署内に置かれています。総会には会員及び招待者合わせて20人が出席しました。

生涯学習講座「花と対話」 野の花と語らい生ける愉しみ



松原さんの庭に設けられた特別教室で、花と語らう時間を満喫。華やかな生け花作品と記念撮影。

6月21日、生涯学習講座『「花と対話」生け花を楽しもう!』が開催されました。会場は、講師の松原光年さん(小宮)のご自宅で、オープンガーデンの花々に囲まれ生け花を楽しみました。花材は講師が準備した他、参加者がオープンガーデンに咲く80種類以上の花々から選び、3つの作品を造りました。参加者は生け花のコツを丁寧に教わりながら、和やかな雰囲気で作業に取り組みました。

生涯学習課では、年間を通して様々な事業を開催していますので、お気軽にご参加ください。

交流センターに開設 人権擁護委員の特設相談所

6月2日、交流センター「ふれ愛館」に、特設人権相談所が開設され、人権擁護委員による人権相談が行われました。6月1日の「人権擁護委員の日」に合わせて実施されているものです。

人権擁護委員は、地域で人権が侵害されないよう注意を払い、侵害された時には相談を受け適切な救済の措置を行います。また、人権への理解を深めてもらう啓発活動にも取り組んでいます。今回のような機会に限らず日頃から無料で相談に応じており、相談内容については秘密が厳守されます。



特設相談所は視聴覚室に開設。人権擁護委員の高木久子さん(大倉/写真左)と山田郁子さん(伊丹沢)。

商工業持続化支援金の 検討を進めます



商工業への支援が急務であることから、支援内容を早急に具体化するための体制づくりを協議しました。

杉岡村長の諮問を受け、6月22日、商工会館において、電気料等の高騰に伴う商工業持続化支援金の検討について、協議が行われました。

この日は今後の進め方について協議を行い、渡邊春治委員長(小宮)をはじめとする商工会総務委員会の中で、村の担当者と情報を共有しながら進めることが確認されました。

また、7月10日に第1回の検討の場を設け、商工業者への具体的な支援内容について検討を進めることが決定されました。

あぶくま信用金庫飯館支店で 防犯キャンペーン

6月15日、あぶくま信用金庫飯館支店で、防犯キャンペーンが行われました。南相馬警察署や飯館駐在所の横倉警部補、南相馬地区防犯指導隊飯館支部の渡邊富士男隊長(飯樋町)、原田直志副隊長(深谷)が参加し、訪れた利用者に詐欺防止の啓発チラシやグッズを配布しました。

福島県警察本部では、悪質な犯罪や悲惨な交通事故などから県民を守るための情報を「POLICEメールふくしま」で配信しています。詳しくは「福島県警察 メール」で検索を。



何気ない会話が被害防止につながることもあります。みんなで地域の安全を守っていきましょう。

木質バイオマス発電施設 工事現場見学会が開催されました

蕨平地区に木質バイオマス発電施設の整備を進めている飯館バイオパートナーズ(株)が、5月28日、地元の蕨平行政区住民を対象とした工事現場見学会を開催しました。

この発電事業は、村内のほか浜通りなど県内の間伐材やパーク(樹皮)を燃料として利用することで、里山の再生や林業の活性化を促し、福島県全体の復興とゼロカーボンへの貢献を目指すものです。

見学会には蕨平行政区住民など20人が参加し、施設の概要や放射性物質対策、工事の進み具合について説明を受けました。

発電事業の概要や工事の状況は事業者のホームページ(<http://www.iitate-bp.co.jp/>)でも公開されています。

飯館バイオパートナーズ 検索

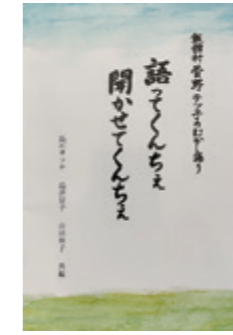


6月の村の動きと主なできごと

- 1日・いいたてホーム 新型コロナワクチン集団接種(いいたてホーム)
 - 3日・第1回わくわく農業体験塾(交流センター「ふれ愛館」)
 - 5日・令和5年第2回飯館村市町村の国民健康保険事業の運営に関する協議会(村役場)
 - 6日・上飯樋地区農地中間管理事業説明会(上飯樋集会所)
 - 8日・草野地区農地中間管理事業説明会(草野集会所)
 - 9日・飯樋町地区農地中間管理事業説明会(飯樋町集会所)
 - 9日・令和5年第2回飯館村市町村の国民健康保険事業の運営に関する協議会(村役場)
 - 9日・令和5年第2回飯館村市町村の国民健康保険事業の運営に関する協議会(村役場)
 - 10日・ふくしまフェスタ 出展(恵比寿ガーデンプレイス)
 - 11日・佐藤オイシさん 百歳賀寿(福島市)
 - 14日・県立医科大学保健科学部 実習(いいたてホーム)
 - 19日・飯館村文化財保護審議会(交流センター「ふれ愛館」)
 - 20日・農業委員会村内視察・定例総会(村内各所・村役場)
 - 21日・生涯学習講座『花と対話』生け花を楽しもう(小宮地区・講師宅)
 - 23日・定例教育委員会(村役場)
 - 23日・24日・新型コロナワクチン集団接種(いちばん館)
 - 25日・佐藤ハルヨさん 百歳賀寿(前田地区)
 - 26日・西村明宏環境大臣 来村(田舎レストランラカッセ/長泥地区)
 - 27日・国道399号沿線自治体連絡協議会(川内村)
 - 28日・第1回いいたて村文化祭実行委員会(交流センター「ふれ愛館」)
 - 28日・29日・「日本で最も美しい村」連合定期総会(北海道標津町)
 - 29日・渡辺博道復興大臣 来村(長泥地区)
 - 30日・までのりの里のこども園 園舎開放(までのりの里のこども園)
- ・県立医科大学保健科学部 サロン実習(いちばん館)

故・菅野テツ子さんの語りが書籍に

昔話の語り手として母・キクさんと2代にわたって活躍し今年5月に亡くなった菅野テツ子さん(小宮)。その「むかし語り」を収録した書籍「語ってくんちえ 聞かせてくんちえ」が発行されました。56編の昔話、村の伝承に加え、テツ子さんが自身の人生を語る章もあり、語り口そのままの文体にも引き込まれます。3人の共著者の1人、長正サツキさん(大久保・外内)は「避難の実情が伝わる語りに胸を打たれ形にしたいと思いました」と6年をかけた聞き書きの足跡を振り返りました。



本書についてのお問い合わせは長正さんまで。
☎080-1826-5506



この本を村に寄贈していただきました。交流センター「ふれ愛館」で読むことができます。

「東大むら塾」草野行政区と交流

東京大学の農業・地域おこしサークル「東大むら塾」。令和元年から飯館村を活動フィールドの一つとし、村の現状に寄り添う多彩な活動を展開しています。6月10日・11日には新入生を含む6人が来村し、活動の一環で草野行政区の皆さんと交流。草野集会所で村民の手料理を味わい、参加者と対話しました。村民の方も「苦労話をいろいろと聞いてもらったよ」と学生と語らう交流が心に残った様子でした。



笑顔はじけるスポーツ交流!

広報に届いた6月のスポーツ交流の様子を紹介します。飯館村ゲートボール協会(佐藤昇会長/草野)は恒例の「南相馬・飯館 親善ゲートボール交流大会」を「いいたてスポーツ公園」屋内コートで開催。『飯館村老人クラブ連合会パークゴルフ大会』『宮内区長杯パークゴルフ大会』は、それぞれ「いいたてパークゴルフ場」で開催されました。スポーツを通して親睦を深めた皆さん。どの会場でも参加者の笑顔が輝いていました。

6月14日 南相馬・飯館親善ゲートボール交流大会



両地区選手の混合チームで試合を楽しみました。

6月17日 老人クラブ連合会パークゴルフ大会



梅雨の晴れ間の青空のもと約74人が参加しました。

6月18日 宮内区長杯パークゴルフ大会



昨年10月に続く開催です。地元の仲間と和やかに。

草野の館跡

歴史の散歩道

戦国時代、飯館村一円は『草野郷』と呼ばれていました。この呼び名は、綿津見神社の当初の社名『草野神社』に由来すると言われています。『水と木の恵みをもたらす神を草野の神と呼んで祀り、大同2年(807年)に地名を草野と定めた(※一部を要約)』と刻まれています。

そして月日は流れ、相馬家の当主・相馬高胤が、草野郷に『草野館』を築いたのは文明年間(1469~87年)と伝わります。「館(館)」というのは武士の住居で、城や砦の役割を持っていました。

相馬氏の命を受け草野館の城代となった増尾阿波守貞清は、以降「草野氏」を名乗り、三代にわたってこの地を治めました。草野郷は、相馬氏と伊達氏が領土

を争う境界にあり、相馬氏は要衝の備えとして、草野館にはその後も有力家臣を置きました。

草野館は元々あった丘を利用して築かれた山城です。草野館の北西部には西館があり、2つの間は空堀で区画されています。現地には今もその面影が残っています。

戦国時代真っ只中の天正17年(1589年)には、相馬氏と伊達氏の合戦が現在の飯樋地区で勃発。相馬家の当主、相馬盛胤・義胤親子も草野郷に入り、陣頭指揮を取って領地を奪い返したと伝わります。激戦となった飯樋地区には古戦場跡が残ります。時勢の流れによりこの時の合戦が、伊達氏との境界争いにおける最終戦となりました。



草野館は台地の東端に築かれました。この北西にある西館との間を区切った空堀の跡も残ります。



かつて小学校が置かれた南山腹に由来を記した碑があります。碑の後ろの道は西館跡へ続きます。



「わくわく農業体験塾」開始!!

今年度も「わくわく農業体験塾」が始まりました。6月3日に、第1回実行委員会を開催し、キュウリやトマト、ナスなどの夏野菜を中心に定植。6月13日にはセロリの種蒔き、スイカの定植など。昨年度とはまた違った環境で挑戦しています。

今後の活動日時については、交流センター「ふれ愛館」入口のホワイトボードにて周知しています。まだまだ塾生を募集中です。楽しくおいしく活動していきますのでぜひご参加ください。

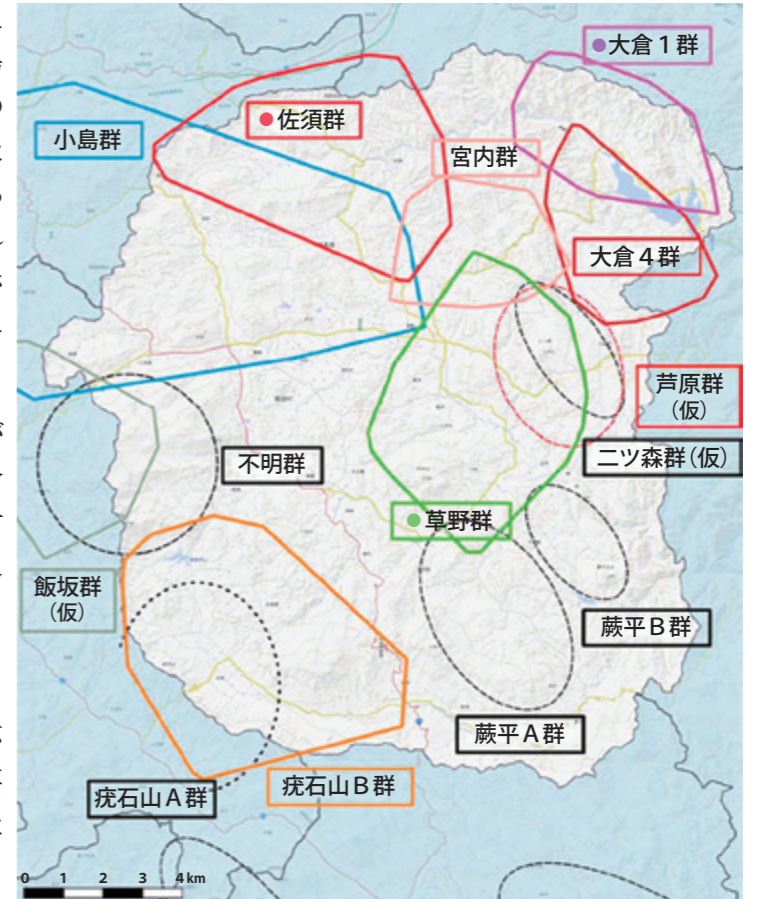
ふれ愛館だより

交流センター「ふれ愛館」からのお知らせです。

3 いたてイノサル通信

飯館村のニホンザル

〈飯館村のニホンザル分布図〉
福島県環境保全農業課・令和4年度調査報告書より



野生動物がどこに何頭いるのかを調べることは、とても難しいことですが、ニホンザルの場合、少し違います。群れで生活するため、その中の1頭に電波を発信する機器をつけることで、群れがどこで活動しているかを調査することができます。また、昼に活動するため、群れの電波を追い、何頭いるかを数えることができます。今回は、そういった調査により分かったことを紹介します。

飯館村では村全体にニホンザルの群れがいて、その数は12群781頭とされています(令和5年度飯館村ニホンザル管理事業実施計画より)。また、群れが農業や生活環境に及ぼす被害の程度を加害レベルと言いますが、●草野群、●大倉1群、●佐須群(地図参照)は、比較的加害レベルが高いとされています。ですが、まだ調査をできていない群れ、不十分な群れがあり、今後も調査を進める必要があります。調査により群れの特徴を知ることによって、効果的な対策を実施することができます。

地図の見方：群れ名と同じ色の実線が、その群れが行動する範囲です。点線の群れは、調査が十分でなく、推定の範囲です。

ニホンザルの豆知識



- 北海道や離島を除き、日本の樹林に広く分布。
- 日本固有種で、サルの仲間では最も北に生息。
- 雑食性で、果実や葉などの植物質を多く食べる。
- 昼間に十数頭から百数十頭までの群れで行動。
- 出産は2,3年に1頭だが、農作物など栄養のあるものを食べていると毎年出産する場合もある。
- 垂直、水平方向に約2m跳躍できる。
- 鼻や耳ではなく、目で食物を探す。
- 人の食べ物を好み、ほぼなんでも食べる。



イノサル通信は村の鳥獣対策を支援する鉄谷さんからののお知らせです。



福島県避難地域鳥獣対策支援員

鉄谷 龍之 さん

平成31年4月から同支援員。令和3年から飯館村の鳥獣対策に携わり、今年度から村の主担当。専門は野生動物管理・鳥獣被害防除。

ふるさとの初夏にきらめく
色とりどりの“わくわく”

第11回

杉岡 誠 村長の
愛楽故郷味
あいらくふるさとみ



「麗しきふるさと飯館村」に向けて、歩みを進めて参ります。

お子様から百寿をお迎えになられた方まで、全ての皆さまが五感で楽しむ「麗しきふるさと飯館村」に向けて、歩みを進めて参ります。

先月のコラムをお休みしましたので、5月の出来事も振り返らせていただきます。

新緑が瑞々しく煌めく中、ゴールデンウィークに森の駅まごころにて開催された「ワクワクマルシェ」や草野地区にオープンした古民家食堂「コーヒー屋の食堂」、2周年を祝う「工房マートル展」、図書館での「DIY EVENT」、道の駅での「ドレスアップカー」イベントなど、村で創意工夫する方々、村を楽しむ方々の「今」を感じるまさしく「わくわく」するイベントが盛り沢山でした。

また、いいたてつ子運動会での学園生や園児の皆さんの生き生きとした姿に、「明日は何があるかな」「次は何しようかな」とウキウキしながら過ごした自分を忘れて眺め続けたり、図書館に閉じこもって「ぼくらはズッコケ探偵団」やシャーロックホームズ全集、夏目漱石全集を読み漁ったこと、夏休みの自由研究で「冬虫夏草」を調べたことなど、幼少期の二つの思い出は、大人になっても鮮明によみがえってくるものです。

村での「わくわく」する日々はきつと、子ども達の上き思い出、将来の糧になるものです。どうぞ多くの方々にそれぞれの「わくわく」「嬉しい」を具現化していただき、子ども達とともに楽しんでいただければと思います。

6月にはお二人の方が百寿をお迎えになりました。賀寿の慶祝に訪れる度に、百歳をお迎えになられた皆さまのお元氣なお姿に驚かされます。お二人ともに「手先が器用」「好き嫌いがなく何でも美味しく食べる」ことが長寿の秘訣とのことでしたが、「笑顔」が素敵なことがもう一つの秘訣だと思えます。この愛すべきふるさとを力強く守り、築き上げて来てくださった方々の百年の歩みとその重みを実感させていただくかけがえのないひと時でした。あらためて心よりお慶び申し上げます。

これから夏秋にかけて、飯館村は美味しいもの、美しいものに恵まれます。「いいたて牛」や「いいたて雪割娘がぼんち」「イータテベイク」「ナッハゼ」「あぶくまもち」など、村ならではの「美味しいブランド」、「トルコギキョウ」や「アルストロメリア」「スターチス」「ユーカリ」などの「美しいブランド」を磨き上げていく過程もまた、「明日が待ち遠しくなるような」未来を予感させる大事なものです。

「麗しきふるさと飯館村」に向けて、歩みを進めて参ります。

Strawberry Lemonade



Hot Latte

ちょっとお茶したいな、そんな時に

こんにちは、5月に食堂&カフェをオープンしましたコーヒー屋です。1か月で多くの方にご来店いただきありがとうございます。今回は土日のカフェメニューのご紹介を。



〈飯館の苺レモネード〉

いちごランドさんの苺を使ったレモネードです。甘すぎずスッキリシュワっと暑い日にピッタリのドリンク。

〈ホットラテ〉

オーストラリアで修行した店主が作るラテ。ホットで頼むとかわいいうラテアートをお出しします。使用する豆は日替わりなので気になる方は聞いてみてくださいね。

土日はランチ・軽食の提供はありません。コーヒー・デザートだけなので、村内の他のレストランでお昼を食べて当店でコーヒーを飲む。そんな流れがおススメ。

地域おこし協力隊
コーヒー屋

横山 梨沙さん

今月のライター



■ ひとのうごき

誕生おめでとう

赤ちゃんの名前	親の名前	行政区
のの 八巻 乃ノ夏 ちゃん	徳一 さん 和枝 さん	草野



ひとのうごき 令和5年5月31日現在

人口	今月 (前月比)	5月1日～31日までの人口動態
●男	2,391人(-1)	転入 5人
●女	2,367人(-6)	転出 4人
計	4,758人(-7)	出生 0人
世帯数	1,808戸(+2)	死亡 8人
		(住民基本台帳人口)

おくやみ

氏名	年齢	行政区
枝 政 弘 さん	81	上飯樋
佐々木 シイ子 さん	90	佐須
細川 正 治 さん	74	上飯樋
菅野 テルヲ さん	95	佐須
木幡 貞子 さん	90	比曾
青田 セツ さん	76	草野
菊地 久 さん	87	蕨平
山田 美恵子 さん	96	伊丹沢

ご冥福をお祈り申し上げます

(5月21日から6月20日までに届け出のあったものを掲載)
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出の時に住民係へお申し出ください。

村民広報委員
ふじおさんの

いいたて **宝さがし**

第12回 ♪おめでとうございます♪

今回は結婚50年、金婚式を迎えられた佐藤隆男さん・たつよさん夫妻(飯樋町)を紹介します。

隆男さんは佐藤家の“くわがっしゃ”(その家の一番の働き頭、中心となる人)です。地域の人・誰もが認める働き者です。昔、父親が入院した時には朝4時から夜中の0時くらいまで一人でうす鎌(長く大きな鎌)を持って草刈りをして運び、牛の世話をされたそうです。避難前は約650頭の牛がいたそうです。丑年生まれで何よりも牛が好きで、我が家の財産だと誇らげに話してくれました。

現在は親牛210頭、子牛42頭、肥育牛31頭、全部で283頭の牛の世話を、ご家族でされているそうです。

茶の間で、あまり強くないお酒を呑みながら「元気で働けることが1番!」と笑いながら話してくれました。帰り際、「私の誕生日と結婚式は同じ日だったの」と少し控え目に、たつよさんが宝話をしてくれました。



「オープンガーデン飯館」 公開中の庭々から花便り

25人の会員が花づくり・庭づくりに励む「オープンガーデン飯館」(松原光年会長/小宮)が、花の季節を迎え、オープンガーデンを開催中。会員それぞれの庭で一般見学を受け入れています。

会の結成は平成30年。長い避難を経て帰村した皆さんの気持ちを少しずつでも明るく前向きにしたいと、有志が立ち上げました。

花に思いを託した活動は、月日を重ねるごとに充実し、美しい景観をつくり出すばかりでなく、関わる人の健やかな笑顔も咲かせています。先進地を訪ねて学びを深めたり、花づくり・庭づくりに関するワークショップを行ったり、研修や交流にも力を入れています。今回のオープンガーデンの期間は8月上旬まで。庭ごとに見学方法がありますので、訪問前に道の駅までい館や役場窓口に着かれた専用マップをご確認ください。

オープンガーデンの花景色



開放的な空間にアーチや彫像を配置。花々に囲まれ心も華やぐ菅野允子さん(佐須)の庭。



会長を務める松原光年さん(小宮)の庭。季節の花がいきいきと咲く中をゆっくりと散策。



初夏の花咲く門馬恭子さん(八木沢・芦原)の庭。県道を行き交うドライバーの心も和ませます。



多品種の花が彩る佐藤ツメノさん(草野)の庭。花壇や支柱などの製作は夫の忠三郎さんが担当。

〈編集後記〉
田植えが終わってすくすくと成長している稲が、青空に映え、風にゆらゆらと揺られています。目にも心にも優しい光景で心が浄化される気がします。のどかで穏やかな景色の裏には、たくさんの方の農家さんがいることを思いながら、今号をご覧ください。(菅野)
あいの沢の管理人さん達が利用者さんのためによりよい環境を整えようと工夫を重ねる姿、地域の農地を耕す担い手さんが真似のできない努力を重ねながら地元の皆さんの役に立っているかと自問する姿、それぞれの場所に人の思いが宿っていて：景色の奥にあるものに心をぐっぐつとつかまれた7月号でした。(星)

Native Speakers

ネイティブ・スピーカーズ
飯館言葉の達人たち 24

いやんべにしていぐが

飯館村 YouTube